

ゲイリー・カー

コントラバス・リサイタル

2019 11/21 (木) 19:00 開演
(18:30 開場)

りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 コンサートホール

コントラバス：ゲイリー・カー Gary Karr [Contrabass]

ピアノ：ハーモン・ルイス Harmon Lewis [Piano]

伝説のコントラバス、来日。

- エックレス：ソナタ イ短調
ECCLES / Sonata in A minor
- グリーグ：ソナタ イ短調 Op.36
GRIEG / Sonata in A minor Op.36
- メンデルスゾーン：無言歌
MENDELSSOHN / Four Songs Without Words
- ラヴェル：ハバネラ
RAVEL : Habanera
- ボッテシーニ：夢、タランテラ
BOTTESINI / Reverie and Tarantella
- サン＝サーンス：「動物の謝肉祭」より 白鳥
SAINT SAENS / The Swan (from Carnival of the Animals)
- クーセヴィツキー：アンダンテ、小さなワルツ
KOUSSEVITZKY / Andante and Waltz Miniature
- ラフマニノフ：ヴォカリーズ
RACHMANINOV / Vocalise
- カタロニア民謡：鳥の歌
Catalonian Carol / Song of the Birds
- パガニーニ：ロッシーニの歌劇
「エジプトのモーゼ」の主題による幻想曲
PAGANINI / Fantasy on Themes from
Opera Moses in Egypt by ROSSINI
ほか



Gary Karr
Contrabass Recital

チケット：全席指定

S席4,000円 A席3,000円 B席2,000円

※本公演は東響定期会員(S席)の特典公演です。

※未成年児のご入場はお断りしております。託児サービスをご利用ください[要事前申込 / 有料]

チケット発売日 会員先行：8月23日[金] / 一般：8月29日[木]

チケット取扱い りゅーとぴあ、新潟伊勢丹、セブン-イレブン [セブンチケット <http://7ticket.jp/>]

りゅーとぴあオンライン・チケット [<https://piagetti.e-get.jp/ryutopia/pt/>]



お申込み・お問い合わせ = りゅーとぴあチケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521 [11:00~19:00 / 休館日を除く]

Gary Karr

Contrabass Recital

コントラバス界の“生きる伝説”

ゲイリー・カー 大巨匠が新潟にやってくる!

知っている人も
知らない人も
聴き逃さない
至極の低音



“コントラバス”という楽器を一番よく見かけるのは、オーケストラではないでしょうか。ハーモニーの土台となって全体を支える、これがコントラバスに与えられる役割の大半でしょう。その中、ゲイリー・カーという人物がコントラバス界に登場し、ソロ楽器としての可能性を追求しはじめました。彼はこれまで、楽器の大きな見た目からは想像できない繊細な音色、そして魅力的で美しい低音を世界中に届けてきました。何とんでも彼の最大の魅力は、心揺さぶる歌心あふれる演奏でしょう。今年78歳になる“ミスター・コントラバス”のこれまでの集大成ともいえるリサイタルを、11月にりゅーとびあコンサートホールで開催します。ピアノは長年ゲイリー・カーのパートナーとして伴奏を務めてきた名手ハーモン・ルイス。生きる伝説となったコントラバスの巨匠の演奏、そして黄金タッグによる最高のステージをどうぞお聴き逃しなく。

コントラバス：ゲイリー・カー

Gary Karr [Contrabass]

1941年ロサンゼルス生まれ。9歳の頃からコントラバスを始め、ヘルマン・ラインスハーゲンのもとで本格的に研鑽を積む。その後、南カリフォルニア大学、アスペン音楽学校、ジュリアード音楽院等で学び、この頃からコントラバスの独奏楽器としての可能性に強い関心を持ち始めた。61年、シカゴ・リトル交響楽団の独奏者に迎えられ、翌62年レナード・バーンスタイン指揮ニューヨーク・フィルハーモニックをバックにサン＝サーンス「白鳥」を独奏して、世界中の注目を集めた。その後、ニューヨークのタウンホールでデビューした際に、演奏に感銘を受けた故セルジュ・クーセヴィツキー夫人から同氏遺愛の1611年製の名器アマティを委譲される。71年以降、ピアニストでオルガン・チェンバロ奏者でもあるハーモン・ルイスとデュオを組み、世界中で演奏活動と数多くの録音を行なった。以来今日まで、史上初めてのソロ・コントラバス奏者として、シカゴ響、ロンドン・フィル、モントリオール響、オスロ・フィル、イギリス室内管など世界各地の著名オーケストラと共演を重ねる一方、超絶的な技巧を見せるのみならず音楽を楽しみ、楽しませるという理念のもとに幅広いコンサート活動を展開している。その卓越した業績により、これまでにローザ・ボンセル財団、アメリカ弦楽器指導者協会 (ASTA)、国際コントラバス協会などから数々の賞を授与されており、2005年6月にはヴィクトリア大学より名誉音楽博士号を授与された。2001年6月、インディアナポリスで開かれた国際コントラバス協会コンヴェンションで行った最後の公式演奏会には27の国からの800人のコントラバス奏者を含む大勢の聴衆が駆けつけ、200人にのぼる弟子たちとファンから、彼の名をつけたバラを贈られた。現在は、毎年7月にコントラバス奏者のためのサマースクール「KarrKamp」を主催、併せて同時期に開催のヴィクトリア・サマー・ミュージック・フェスティバルに参加している。1995年以降、ヴィクトリアのジェームズ・ハムがブリティッシュ・コロンビア州の木材で制作したコントラバスを愛奏している。また、アマティを贈ったクーセヴィツキー夫人の厚意に報いるため、1984年にカー・ダブルベース財団を設立。才能あるコントラバス奏者への楽器の貸与、コントラバスのためのソロ作品委嘱など、コントラバス振興のための活動を続けている。

ピアノ：ハーモン・ルイス

Harmon Lewis [Piano]

ミシシッピ生まれ。ピアノ、オルガン、チェンバロを学び、インディアナ大学で音楽修士号および博士号を取得。ピアニストとしてだけでなくオルガニストとしても活躍、カナダ放送協会のオルガン・リサイタルシリーズにもたびたび出演した。1971年、ゲイリー・カーとデュオを結成。北米各地のみならず、ヨーロッパ、アジアなど世界中で活発に演奏活動を行い、エディンバラ音楽祭、ベルゲン音楽祭をはじめとする各地の音楽祭にもたびたび招かれた。現在はゲイリー・カーと共にブリティッシュ・コロンビア州ヴィクトリアに住み、この30年間に編曲し演奏してきた作品のほとんどを網羅する大規模な録音プロジェクトに乗り出している。

◎チケットご購入の際のご注意

- ・未就学児童はご入場いただけません。また小学生以上の方はチケットが必要です。
- ・お買い上げいただいたチケットのキャンセル・変更はできません。
- ・やむをえない事情により内容、出演者等が変更されることがあります。
- ・車椅子席はチケット購入時にお申し出ください。 ※りゅーとびあのみで取り扱います。

サポートシステムのご案内

(11:00～19:00/休館日を除く)

お申し込み = りゅーとびあチケット専用ダイヤル TEL.025-224-5521

[託児サービス] 対象：生後6ヶ月以上～小学校2年生まで

託児料：未就学児1人1,000円、小学1・2年生1人1,500円

※公演日の2週間前までに申し込みにください。なお定員になり次第、締切らせて頂きます。

※公演日前1週間を過ぎるキャンセルは託児料と同額のキャンセル料が発生します。

[難聴者赤外線補聴システム] あらかじめお申し込みください。



- ・お車で ▶新潟駅万代口より15分 ▶関越・磐越自動車道新潟中央ICより20分 ▶新潟空港より30分
- ・バスで ▶新潟駅万代口より15分～20分 ▶萬代橋ライン (BRT) 青山方面行「市役所前」下車徒歩5分
- ・電車で ▶越後線・白山駅より徒歩15分

[白山公園駐車場のご案内]

●白山公園駐車場A、B、C、D合わせて約580台

※身障者用駐車場スペースを用意しております。

※りゅーとびあには専用の駐車場がありません。なるべく公共交通機関をご利用ください。なお、自家用車は白山公園駐車場(有料30分100円)をご利用いただけますが、混雑する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

※駐車場料金のお支払いは、プリペイドカードが大変便利でお得です。2,000円のカードで3,000円分駐車場をご利用いただけます。りゅーとびあ2Fの自動販売機でもお買い求めください。